月刊 あなたにこの本を！

平成 18 年 9 月号
大阪市立図書館
「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（　）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

迷宮レストラン　ークレオパトラから樋口一葉までー

河合真理　著
日本放送出版協会　1785円（0011204449）　**ジャンル　：　暮らしにうるおいを**

ナポレオン様、ダーウィン様、河童の河太郎様……。このレストランのお客様は、実在・架空のいずれ劣らぬ有名人たち。彼らに喜んでいただけるようにと河合シェフが用意した特別コース料理を、詳しいレシピと解説つきで紹介する。文献から好みを調べ、当時手に入ったとみられる食材や調理道具を使って考案されたメニューには、遊び心もいっぱいだ。趣向をこらした盛り付けが、目も心も楽しませてくれる。〔383.8〕

芸術起業論

村上　隆　著
幻冬舎　1680 円　（0011232683）　**ジャンル　：　生き方・考え方に学ぶ**

アートで金もうけして何が悪い、とばかりに海外で活躍を続ける著者が語る。彼の作品が1億円で落札されるなど華々しい実績の裏には、欧米の芸術界のルールを研究し尽くした独特の戦略があった。彼は、アニメ、美少女、オタクなどを作品の主題として、欧米美術史に新境地を開く。さらに、理論武装や積極的なアピール、根回しをして作品を売り込む。芸術とビジネスに関する旧来の日本の考え方を超えて、夢を実現させる姿勢がすがすがしい。〔704〕

心の内よりきれい数奇(すき)

山田宗里　著
扶桑社　1600円　（0011196297）　**ジャンル　：　暮らしにうるおいを**

テレビ局に入社し海外特派員を志していた著者は、結婚しても子どもは作らず仕事を続ける、という人生設計を描いていた。だが茶道の家元と結婚。家元夫人、妻、そして三児の母へと一転した生活で、日々感じた出来事、発見などをつづる。お茶の言葉からとった書名には、心の内面からきれいな生き方をしたい、という彼女の願いが込められている。茶道の魅力を知り、家族と過ごす幸せを実感した彼女の素敵な生活がつまった本。〔Eヤマタ〕

江戸八百八町に骨が舞う　ー人骨から解く病気と社会ー

谷畑美帆　著
吉川弘文館　1785円　(0011212091)

ジャンル　：　歴史・文化に親しむ

骨は考古学上重要なカルテのようなもの。生前の栄養、健康状態などがわかり、伴う記録が一切ない場合でもその人物の生前を雄弁に語る。例えば二代将軍徳川秀忠の遺体を見ると、骨に残る筋肉の痕跡(こんせき)から後世の将軍たちにくらべ筋肉が発達していたことがわかる。頭蓋(がい)骨の形から、はたまた骨に残る病気の痕から復元される江戸の情景に、自然と引き込まれていく。古人骨の魅力にとりつかれた著者が贈る新しい視点の歴史ガイド。〔213.6〕

笑う大英帝国　ー文化としてのユーモアー

富山太佳夫　著
岩波書店　777円　(0011211967)

ジャンル　：　歴史・文化に親しむ

英国では王室、政治など、あらゆる物事が笑いとなる。本書は何でもありのユーモアを紹介しつつ、その笑いの効果について語る。例えば戦争のような悲劇でさえ、英国人は笑いに変えてしまう。不謹慎にも思えるが、そこには笑いとセンチメンタリズム、心の痛みが同居している。そして、笑いによって、心の傷はいくらかでも昇華される。他国人には理解不可能ともいわれる、英国のユーモアの背景にある文化を垣間見ることができる。〔233〕

サルが食いかけでエサを捨てる理由(わけ)

野村潤一郎　著
筑摩書房　735円　(0011201784)

ジャンル　：　自然・環境を考える

サルが食いかけでエサを捨てるのは、単にそうしたいから。だがそのおかげで木に登れない動物も木の実を食べることができ、木は種をばらまいてもらえる。それぞれが好き勝手に生きているようで、全ての命がつながっている。動物としての人間がこれからどう進化していくのか、小さな虫にも心があるのかなど、興味深い話題をとおして生態系をわかりやすく解説。獣医として動物に接する著者の、生き物の心までも見とおす観察眼に驚かされる。〔468〕

ロボットと暮らす　ー家庭用ロボット最前線ー

大和信夫　著
ソフトバンククリエイティブ　735円　(0011208461)

ジャンル　：　現代社会を見つめる

アニメのおかげか、ロボットに親しみを持つ日本人が多いという。しかしアトムやドラえもんが実現するのは、かなり遠い未来のことだろう。では、5年後、10年後には、どんな家庭用ロボットが現れるのだろうか。ロボットベンチャー企業を経営する著者ならではの観点から、開発の現在と、ごく近い将来像を紹介する。アイボやアシモなど、すでにおなじみのロボットたちの説明も盛りだくさんで、興味深い。きたるべき未来に思いをはせよう。〔501.9〕

俳優になりたいあなたへ

鴻上尚史　著
筑摩書房　798円　(0011201785)

ジャンル　：　暮らしにうるおいを

著者が新幹線で高校生から突然うけた質問は「どうやったら俳優になれるのか知りたいんです！」 パワフルなゆきちゃんとおとなしいマサシ、そして著者との会話の形で繰り広げられる俳優論は、俳優という職業の意味から舞台や映画などメディア別の俳優事情など多岐にわたる。演劇ワークショップを手がける著者だけあって、あがらないための役づくりのコツやセルフプロデュースの重要性など具体的なアドバイスも多く、読んで楽しい実用書ともなっている。〔771〕

月刊 あなたにこの本を！

平成 18 年 10 月号
大阪市立図書館
「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（　）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

絵本屋の日曜日

落合恵子　著
岩波書店　1890円　(0011196066)

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

「火照った足の裏をもてあましたら」「無理して笑って自己嫌悪にとらわれたら」「夏の記憶をたどりたかったら」……。日々の生活の中でふとよぎる気持ちに、そっと寄り添ってくれる絵本を見つけませんか。子どもの本の専門店「クレヨンハウス」をひらいた著者が、エッセイとともにその時の気持ちにぴったりな絵本を紹介する。子どもの時大好きだった本や、あのころのやわらかな心になれる本と出会う、大人のための絵本案内。〔019.5〕

ベルマークのひみつ

高井ジロル　著
日本文芸社　1050円　(0011230243)

ジャンル ： 知識・教養を深める

だれでも一度は見かけたことがある、商品のパッケージなどに付いているベルマーク。集めるとボールなど学校の備品がもらえるのは皆さんご存知の通り。でもどの様なしくみなのか知っている人は少ないのでは？　実は学校の設備を充実させるとともに災害地支援もできてしまう、日本独自の画期的なボランティア運動なのだ。そんなベルマークのしくみはもちろん、珍しいマーク一覧、ベルマーク度判断テストなどおもしろ情報ももりだくさん。〔373〕

仏像のひみつ

山本　勉　著、川口澄子　イラスト
朝日出版社　1470円　(0011213957)

ジャンル ： 知識・教養を深める

東京国立博物館でこども向けの仏像展を担当した著者が、その経験から本書を書き上げた。専門用語を使わず、イラストをふんだんに用い、簡潔に、でもしっかりと仏像のひみつを教えてくれる。如来と菩薩(ぼさつ)の違い、ポーズがあらわす意味、時代による体型の違いなど、興味深い話題が満載。如来の手に水かきがあり、千手観音の手に目があるなど、見過ごしがちな特徴も紹介されているので、仏像をあらためてじっくり観察したくなる。〔718〕

ジプシー　歴史・社会・文化

水谷　驍(たけし)　著
平凡社　819円（0011225050）

ジャンル　：　歴史・文化に親しむ

ジプシーは同じイメージで語られてきた。黒髪に褐色の肌。音楽や占いを生業にし、時には犯罪にも手を染める「漂泊の民」。それは彼ら自身の実態というより、非ジプシーの人々によって作られたものである。ジプシーに関する研究は何世紀も過去の研究をなぞり、近年にいたるまで彼らの現状を正確にとらえるという試みすらもなされなかった。常に社会の少数派であったジプシーについて、最近の研究を踏まえながらその歴史や現状を探る。日本の漂泊民といわれるサンカとの比較も興味深い。〔382〕

陸軍墓地がかたる日本の戦争

小田康徳　横山篤夫　堀田暁生　西川寿勝　編著
ミネルヴァ書房　3360円（0011201591）

ジャンル　：　大阪にゆかりの本

大阪城内の陸軍兵学寮の病死者を埋葬するために、明治4年、日本最初の陸軍墓地が真田山に設置された。以後太平洋戦争に至る約5万の関係者が眠る。墓碑は、兵士以外に看護人などの軍役夫、外国人捕虜が葬られていることや、彼らの出身地や亡くなった場所をも伝える。しかし、年月の経過により、墓石は損傷の危機にさらされている。本書はこの施設を、当時の軍隊や戦争の様子を伝える貴重な遺跡として、様々な観点から調査した成果を収める。〔396〕

犬と話をつけるには

多和田　悟　著
文藝春秋　714円（0011228966）

ジャンル　：　暮らしにうるおいを

盲導犬クイールを訓練した著者が、盲導犬を育てていく中で得た経験をもとに、犬との付き合い方について語る。訓練士を始めた頃の苦労や、外国の訓練所の話などを交えながら、犬の性質、家庭でのしつけについて楽しく書かれている。特筆すべきところは、犬は明日のことを考えない、など犬を知るための5つの法則で、そこでは犬の気持ちを詳しく解説してくれる。犬のことを知り、もっと仲良くなりたい人におすすめ。〔645.6〕

岡本太郎　―岡本敏子が語るはじめての太郎伝記―

岡本敏子　著　篠藤ゆり　聞き手
アートン　1050円（0011239178）

ジャンル　：　生き方・考え方に学ぶ

秘書・養女として常に傍らにいた著者が、岡本太郎を語る。漫画家と作家の両親との特異な生活の中で作られた頑固で一途な性格は、20 代のパリ滞在時に、自分を守ろうとせず常に困難な道を選ぼう、との決意を生む。だれもがしりごみをした万博のディレクターをひきうけたのも、この信条ゆえである。著者が 2005 年に急逝したため未完の伝記となったが、柔らかな語り口で再現される巨匠の姿は、彼自身が愛した太陽のように熱と光を放っている。〔723.1〕

恋する和文様(わもんよう)

藤　依里子　著、水野恵司　監修
きこ書房　1470円（0011224398）

ジャンル　：　知識・教養を深める

和装品や工芸品、和雑貨などに思いをこめて描かれる和文様。本書では、縁起かつぎの意味をもつ図案を 119 種類とりあげ、その由来や表す季節、ご利益を解説する。梅文、唐獅子文、宝船文……。各ページに掲げられている文様は、やさしい色彩の切り絵でかたどられており、モチーフの特徴をとらえた造形や陰影がなんとも美しい。親しみやすい解説文とあいまって、読み進むうちに和文様にすっかり「恋」してしまいそう。〔727〕

月刊 あなたにこの本を！

平成 18 年 11 月号
大阪市立図書館
「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図･写真が多い

また飼ってみたい昭和のペット

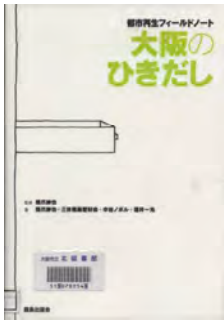
安斉裕司　著
リヨン社　1470円　(0011251711)　ジャンル ： 暮らしにうるおいを

今も昔も子どもたちに人気のカブトムシ、教室で飼っていた金魚、手乗りにもなるセキセイインコ……。身近な昆虫や水生生物から血統書つきの動物まで、様々なペットたちが登場する。縁日や昆虫採集に行く子どもたち、珍獣ブームなど、各ペットにまつわる昭和の思い出を振り返る。あわせて入手方法や飼育方法も分かりやすく解説。子どもの頃遊んだ懐かしいペットたちに出会え、動物の魅力を再発見できる。親子で一緒に読んで楽しめる本。〔645.9〕

台所の一万年　－食べる営みの歴史と未来－

山口昌伴　著
農山漁村文化協会　2800円(0011243296)　ジャンル ： 暮らしにうるおいを

飽食の時代と言われて久しい日本。だが添加物漬けの食べ物、毎日出される大量の食べ残し……。これが果たして豊かな食の営みと言えるのだろうか。著者はそんな現代のキッチンのありように警鐘を鳴らす。食糧の備蓄の場であり、加工調整の場ともなる芋蔵(いもぐら)など、日本古来の台所には今のキッチンにない機能性や知恵が存在する。現代人が忘れかけていた、生命を営むための「食」を再確認できる新しい食育の書。〔383.9〕



大阪のひきだし　－都市再生フィールドノート－

橋爪紳也　監修　　橋爪紳也、三休橋筋愛好会、中谷ノボル、酒井一光　著
鹿島出版会　2100円　(0011241099)　ジャンル ： 大阪にゆかりの本

高層ビルが林立しても都市は再生しない。生活が活性化されてこそ都市は再生する。大阪では住民や勤め人たちが、気楽にまちの生活の活性化に取り組んでいる。活動の素材は、水辺の環境、近代建築、まちの歴史など大阪というタンスのひきだしから出てきた宝物。水辺のカフェ、まちの絵はがきづくり、戦前の銀行建築を活用したレストランなど、しゃれたイメージを示して文化性や生活の豊かさを追求する。21世紀型の都市再生の事例を紹介する。〔519.8〕

戦う動物園　－旭山動物園と到津(いとうづ)の森公園の物語－

小菅正夫、岩野俊郎　著　島　泰三　編
中央公論新社　840 円　(0011250491)

ジャンル　：　自然･環境を考える

ユニークな仕掛けが話題を呼び、今や日本有数の集客を誇る旭山動物園。また、一度は財政難で閉園したが、地域住民の熱烈な支援で復活をとげた、到津の森公園。危機を乗りこえ、今も戦い続ける二つの動物園の園長は、実は獣医時代からの旧友だという。彼らの対談をもとに、岩野園長の実兄で動物学者の島氏が、両動物園のたどった道のりをまとめたのが本書。動物園の可能性を模索し続ける二人のリーダーの、かざらない言葉が胸をうつ。　〔480.7〕

漆　塗師(ぬし)物語

赤木明登　著
文芸春秋　2350円　(0011233536)

ジャンル　：　歴史･文化に親しむ

雑誌編集者から一転、輪島塗職人へ。そんな独特な人生を歩む著者が、自分を再発見するまでの物語。それでいて、漆器ができるまでの工程や、輪島塗界の現状についてもうかがい知ることができる。魅力的な親方や隣人に見守られ、妻や子に支えられ、職人として着実に成長を続けた著者。今や、ドイツ国立美術館で「日本の現代塗り物12人」に選ばれるまでになった。彼の作り出す器は、彼の日々の暮らしのように、あたたかく、実用的で、美しい。　〔752〕

ガウディの伝言

外尾悦郎　著
光文社　998円　(0011244460)

ジャンル　：　知識･教養を深める

スペインの大聖堂、サグラダ･ファミリア。1880年代に始まった建設は、設計者のガウディ亡き後も、スペイン戦争で設計図が失われても、ゆっくりと、だが着実に進められている。それは職人達が図面に頼らず、建物に残されたガウディの意志を読み取るようにして作業を進めてきたからこそ、成し得た業(わざ)なのだ。教会正面の「生誕の門」の彫刻を担当した著者が、自身の体験を交えながら「神の建築家」の思想と人生をたどる。　〔523〕

南極がこわれる

藤原幸一　写真･文
ポプラ社　1680円　(0011245013)

ジャンル　：　自然･環境を考える

写真に写っているのは、かわいらしいペンギン。だがその足下では永久凍土がとけ、目の前にはゴミの山が立ちはだかっている。人類が引き起こした地球温暖化やゴミ問題によって小さな命がおびやかされ、南極がこわれつつある。著者は、人類共通の財産である南極を、人類全体で救うことで、地球を救う大きなヒントが導き出されると語る。今南極で何が起こっているのか、針金が刺さったペンギンの痛々しい姿が、何よりも強く訴えかけてくる。　〔488〕

小心者の大ジョッキ

端田　晶　著
講談社　1260円　(0011252506)

ジャンル　：　暮らしにうるおいを

東京･恵比寿にあるビールの記念館の館長が、お酒に関するうんちくを語る。著者の豊富な知識を出発点にしたうんちくは、時に大胆に仮説と妄想の域に達し、さながら楽しい飲み友達を得たかのような気分にさせてくれる。ビールの冷やし方やおいしく飲める注ぎ方など、実際に役立つ情報もある。読むおつまみのようなこの一冊。自らを小心者と称した丁寧でユーモアあふれる文章は、酒の好き嫌い如何に関わらず楽しませてくれる。　〔588.5〕

月刊 あなたにこの本を！

平成 18 年 12 月号
大阪市立図書館
「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図･写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

気象病　－天候が健康を脅かす－

村山貢司　著
日本放送出版協会 777円（0011259557）　ジャンル ： 自然･環境を考える

気象と病気の関係は深い。気温や湿度、気圧などの変化が直接からだに作用したり、アレルギー物質や病原菌の繁殖を引き起こしたりして、病気の大きな原因になる。そうした「気象病」について、気象予報士で、日本で初めて「花粉情報」や「紫外線情報」の発信に関わった著者が解説。生活環境の変化と人体の関係、季節ごとに注意すべき病気、気象情報の活用方法などをやさしく説く。正しい知識と対策で健康を守ろうと語りかける。〔498.4〕

世界飛び地大全　－不思議な国境線の舞台裏－

吉田一郎　著
社会評論社　2520円　（0011262283）　ジャンル ： 歴史･文化に親しむ

世界地図をよく見てみると、各地に国本土とつながっていない領土「飛び地」があることがわかる。本書ではガザ地区からロンドンのホテルの一室まで、古今東西の様々な飛び地をとりあげる。植民地支配や民族、宗教、思想の違いが生み出した不思議な国境線の周囲では、様々なドラマが繰り広げられてきた。虐殺による民族浄化など、人の過ちもあれば、笑ってしまうような国同士のやりとりもある。近現代史をかつてない視点で照らした本だ。〔319〕

センセイの書斎－イラストルポ「本」のある仕事場－

内澤旬子　著
幻戯書房　2310円　（0011216514）　ジャンル ： 暮らしにうるおいを

作家や翻訳家、建築家など、本を使って仕事をするセンセイたちの書斎を紹介する。登場するのは、南伸坊、養老孟司らの31例。見開きいっぱいのイラストは、家具の配置や過ごす様子、本棚に並ぶ書名まで細かく書き込まれており、部屋の主の人柄までもがにじみ出ているようだ。また、インタビューからは、本に対する思い入れが伝わってきて興味深い。個性あふれるそれぞれの書斎。創造の空間をのぞいてみませんか。〔910.26〕

お坊さんだって悩んでる

玄侑宗久　著
文藝春秋　861円　(0011246918)

ジャンル　：　生き方･考え方に学ぶ

「最近の遺影は派手すぎるのでは」「厄落としやお守りは本当に効くのか」「死刑をどう考えたら」……。僧侶(そうりょ)であり、芥川賞作家でもある著者が、おもに寺院関係者から寄せられる質問に次々と答える。どれも、お寺の中の悩みでありながら、不思議と多くの人に共通する大事な問題をはらんでいることに気付かされる。著者いわく「生の専門家」であるお坊さんたちの問答から、生きるためのヒントを得てみては。　〔180.4〕

日本とフランス二つの民主主義　－不平等か、不自由か－

薬師院仁志　著
光文社　777円　(0011263110)

ジャンル　：　現代社会を見つめる

民主主義といえば、自由を尊重するアメリカ型が知られる。それを手本とした改革の結果、米国並みの格差社会を迎えつつある日本。著者は別の選択肢として、平等を重視するフランス型を紹介する。雇用政策や育児支援を例に、高福祉･高負担は単なる弱者救済ではなく、貧困率の低下や出生率の上昇といった社会全体の利益をもたらすことを説明。自由と平等のどちらを優先するのか。それぞれの本来の意味を明確にした上で問いかける。　〔311.7〕

授業の出前、いらんかね。

山本純士　著
文藝春秋　756円　(0011264996)

ジャンル　：　子どもの成長のために

病気や事故で長く入院する子どもたちを対象に、授業を病院まで届ける病院訪問教育。自称「出前教師」の著者が、現場でのエピソードとともに病院内教育の歴史、問題点などをつづる。授業を受けることが明日への希望だった脳腫瘍(しゅよう)の少女。重病をわずらったために、甘やかされ、友人ができない車いすの少年。そんな子どもたちと悩み模索しながらも真摯(しんし)に向きあおうとする著者の姿が胸を打つ。等身大の教師の姿がここにある。　〔378.4〕

クラゲのふしぎ　－海を漂う奇妙な生態―

ジェーフィッシュ　著　久保田　信、上野俊士郎　監修
技術評論社　1659円　(0011260097)

ジャンル　：　自然･環境を考える

透明な体をふわりふわりと揺らめかせて、海中を漂う不思議な生き物、クラゲ。その生態はいまだ謎(なぞ)が多く、神秘に満ちている。本書では研究者や水族館の担当者、その他愛好家たちが、クラゲについてわかりやすく解説する。不老不死のクラゲや、池で突然大量発生するメカニズム、水族館での鑑賞ポイントも紹介されていて、まるごと一冊クラゲを楽しめる本。癒されるだけではない、クラゲの魅力を感じてみませんか？　〔483〕

文学全集を立ちあげる

丸谷才一、鹿島　茂、三浦雅士　著
文藝春秋　1575円　(0011284845)

ジャンル　：　知識･教養を深める

文学全集離れがすすむこの時代。もし今、新たな全集を作るなら？　作家と評論家の3人がその想定のもとに開いた編纂(へんさん)会議が、本書である。著者たちが交わす豊かな文学的知識や編纂上の意見交換だけでも文学論･文学紹介書としての価値がある。それに加えて「ブロンテ姉妹は少女マンガの元祖」等の新解釈も面白い。架空の全集づくりのはずなのに、むきになってひいきの作家の擁護論を述べたてる著者たちのさまに、思わず笑みがもれる。　〔904〕